みんなの緊急掲示板

～大切な人を心配する気持ちは変わらない～

緊急時に連絡手段を持たない子供や高齢者、外国人などの人々が
必要な情報をスムーズに入手するための掲示板

今回、デジタル格差のために不自由のない社会をデザインするということで、私は特にデジタル格差が表れやすくそして格差が生まれてはいけない場面は災害時にあると考えた。
そこで、災害時に生まれるデジタル格差を軽減するデジタルの掲示板を考案した。

【考察】

災害が起き、避難所では掲示板にメモが大量に張られているのを
ニュースで目にしたことがある。

これでは知りたい情報をなかなか見つけられない。
また、日本語の理解ができない外国人には災害時の情報が伝わりにくい。
スマホを持っている人同士では連絡がつくが、
持たない人は情報弱者になってしまう。

災害時のそういった問題を解決するため、災害時に使用する
誰もが簡単に情報を得るためのプロダクトは作れないかと考えた。

【課題】

・情報が整理されていないため、欲しい情報を探すのが困難
欲しい情報があるのかもわからずに探す手間がかかる。

・連絡手段を持っている人同士では連絡を取れるが、そうでない
人は大切な人の安否や現在の情報も得ることができない。

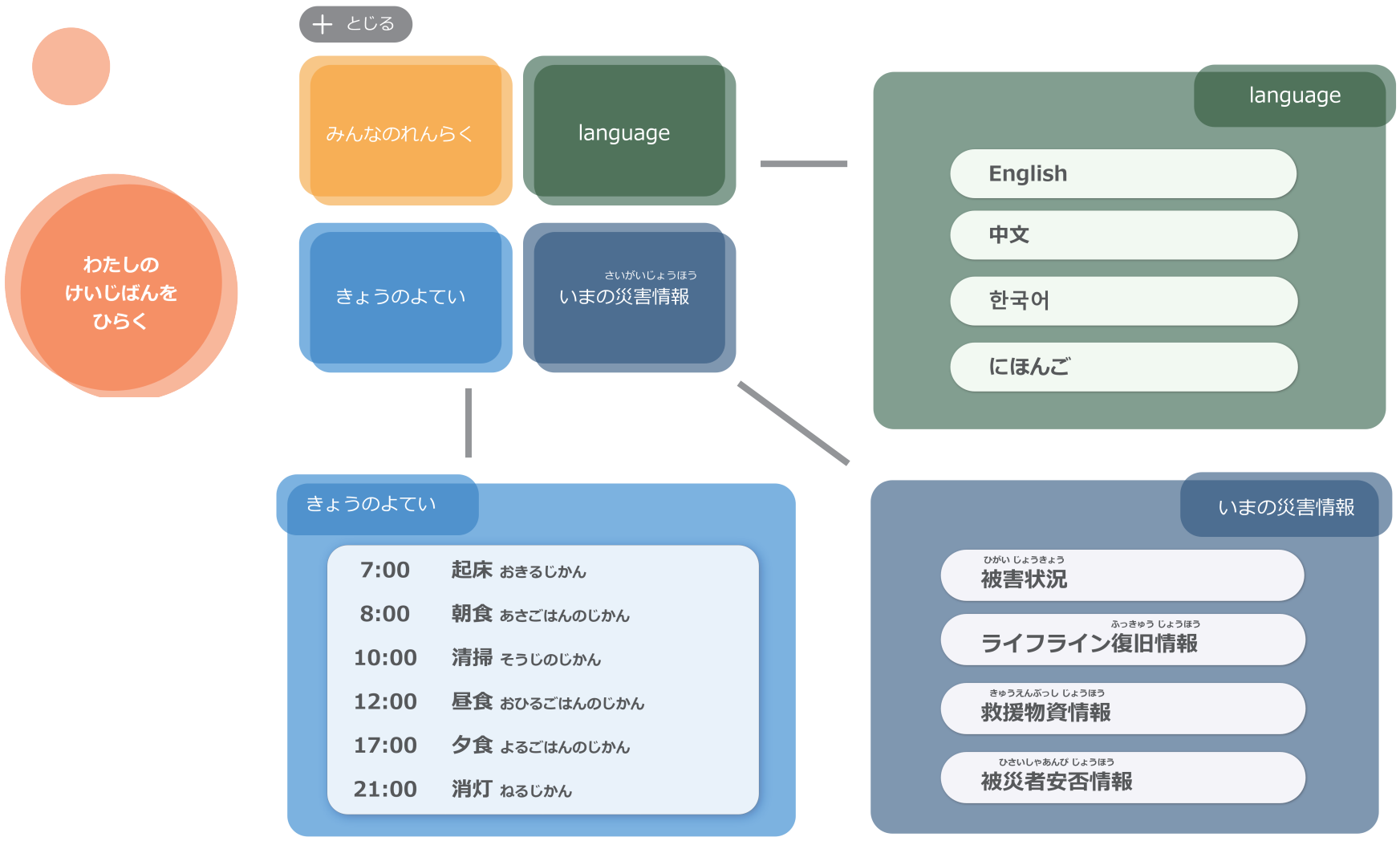
・日本語が理解できない人や高齢者も情報弱者になってしまう。

【概要】

避難所の壁や廊下にプロジェクターで映像が映し出される。
ユーザーはその画面をタッチすることで操作できる。
常に上部には避難所のアナウンスや災害情報、緊急連絡などが表示されており、
下部をタップすると目の前に自分だけの掲示板が表示される。

プロジェクター自体は常に各避難所に置く、または災害時に支給することを想定している。
近年明るい場所でも見やすいプロジェクターや、タッチ操作できるものが販売されているため実現可能なものであると考える。

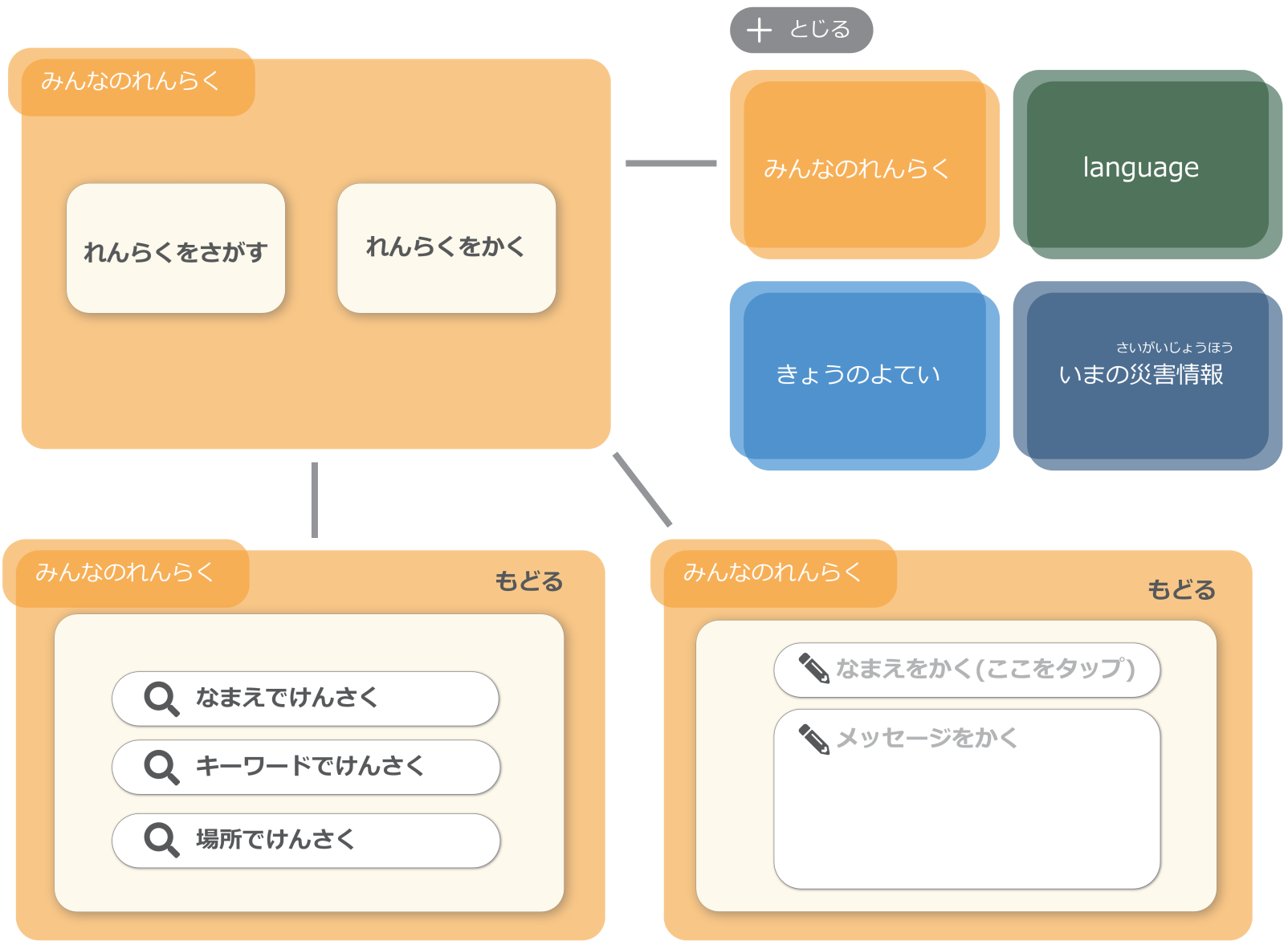
【操作画面】



【常時表示画面】

上部にアナウンスが表示される

【操作画面】



【このボードでできること】

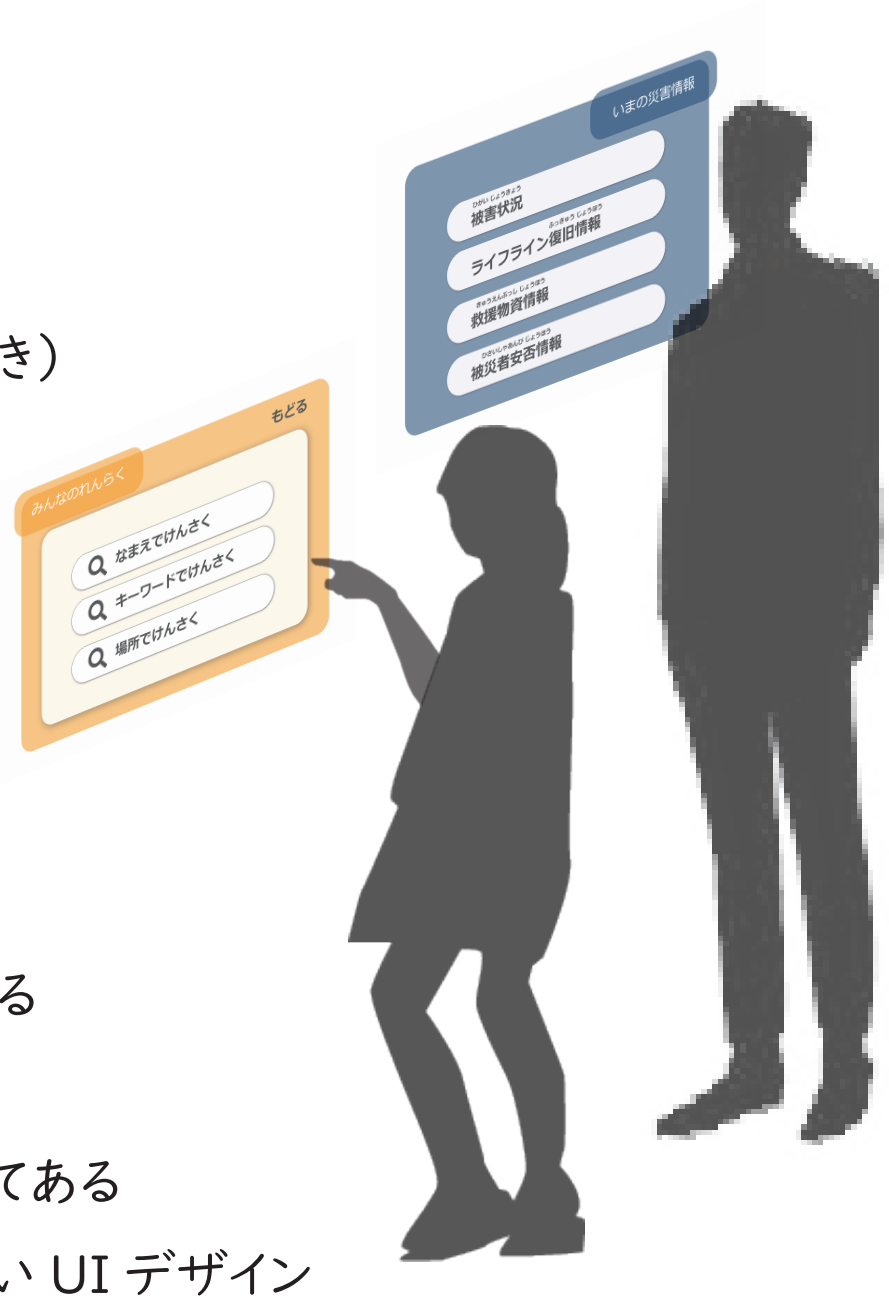
・災害の状況報告

・安否確認（メッセージを残せる、検索機能付き）

・避難所の連絡報告

・スマホと連携、情報を広める

(外国語対応可能)



【特徴】

・子供から大人まで目の前の高さで操作できる

・日本語だけでなく外国語にも対応

・子供だけでも操作できるようフリガナがふってある

・画面操作に慣れていない人でも操作しやすい UI デザイン